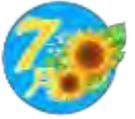


新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)

健康講座 「膵癌について」

横浜新緑総合病院 消化器センター 消化器内科医長 権 勉成 (ごん かつげ)

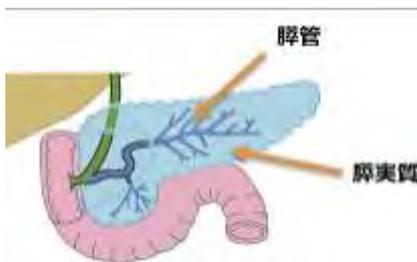


【はじめに】

膵癌は統計上、罹患数と死亡数がほぼ等しく、治癒が得られにくい難治性固形癌として知られています。同じ消化器領域の胃や大腸と異なり、いまだ「早期膵癌」という定義すら確立されていません。

腹痛など何らかの症状が出現した際には膵臓周囲の重要な血管(腹腔動脈・上腸間膜動脈)や隣接する臓器、神経などに浸潤し、肝臓や遠隔リンパ節などに転移し、既に手術ができない状況に陥っていることが多く、治癒を得るためには早期発見が何より重要となります。

膵癌のほとんどは病理学的に浸潤性膵管癌に分類され、膵管(分枝)の上皮から発生し、癌の増殖に伴い膵実質に浸潤し腫瘤(しこり)を作っていきますが、腫瘍径と生存率が密接に関連していることが分かっています。



手術後の5年生存率は癌が膵管上皮にとどまる上皮内癌では90%前後、腫瘍径1cm以下で80%、1-2cmで50%、2cm以上で

20%以下と報告されています。つまり腫瘍径が大きいほど、手術後の再発も増えてくるため、治癒を目指すには腫瘍径の小さい段階で発見し、手術を行うことが重要となります。

浸潤(しんじゆん)：がんがまわりに広がっていくこと。
水が少しずつしみ込んでいくように、次第にがん細胞が周囲に入り込み、拡大していくこと。

腫瘍径(しゆようけい)：腫瘍の大きさ(直径)

【膵癌のリスクファクターと困り込み】

膵癌診療ガイドラインによると、これまで膵癌のリスクファクターとして判明しているものとして、遺伝性膵炎、膵癌家族歴(1親等内)、慢性膵炎、大量飲酒、喫煙、肥満、糖尿病、膵のう胞(膵管内乳頭粘液性腫瘍：IPMN)などが挙げられます。特に膵のう胞を有する方は膵臓全体が膵癌の

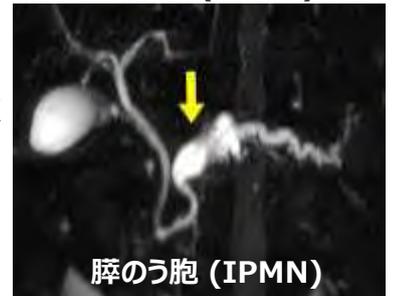
前癌病変(発生母地)と考えられています。また糖尿病については新規発症時や血糖コントロールが悪くなってきた時に要注意です。膵癌の可能性を疑い、すぐに画像検査を行うことを強くお勧めします。

【膵癌の画像検査法】

膵癌の診断にあたっては従来の検査法である体外式超音波、造影CT、MRI(MRCP)に加えて、超音波内視鏡(EUS)が非常に有用な検査法です。

特に20mm以下の小膵癌に対する感度はCTで40-67%、MRIで33%、EUSで90-100%と報告されています。EUSは外来でも検査可能であり、特に小膵癌の診断にEUSは必要不可欠な検査法です。

MRI (MRCP)



EUS (超音波内視鏡)



【終わりに】

全ての膵癌患者さんを早期に発見することは現実問題、非常に難しいですが、このようなリスクファクターを有する方(特に膵のう胞)については厳重な経過観察により膵癌を早期に発見できる可能性があります。当院では膵癌に対する詳細なEUS診断が可能です。上記のような膵癌のリスクファクターを有する方は消化器センターまでご相談ください。

i 外来を受診される患者さまへのお願い 《新型コロナウイルス感染症対策》

新型コロナウイルス感染症への対策として、外来受診の際は以下の点にご協力をお願いします。

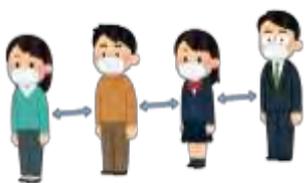
院内で密を発生させないために

《患者さま一人一人の院内の滞在時間を短くする》

- 予約や検査時間に合わせてご来院ください。
(予約時間より早いご来院は控えてください)
- 会計終了後は速やかにご帰宅ください。

《ソーシャルディスタンス》

- 受付窓口や会計では距離を保って並んでください。
- 待合室の椅子は、隣の方と間を空けてご利用ください。



感染しない、感染させないために

- 必ずマスクを装着してきてください。
- 風邪症状や発熱等がある方は、必ず事前に電話にてご相談ください。また、来院時には受付で症状をお申し出ください。

i 乳腺外科 外来診療枠拡大

8月より金曜日午後の外来診療（大地 哲也 外科・乳腺外科部長）を開始します。 ※ 事前予約が必要です。

i 院外処方箋送信システムを導入しました



この度当院では、病院内から院外薬局へ処方箋を送信できるサービス（EPARK くすりの窓口）を導入しました。会計終了後、患者さまご自身の簡単な操作で、かかりつけ薬局へ処方箋の内容を送信できます。院内から薬局の受付ができるため、薬局での待ち時間を短縮できます。

精算機付近に専用の通信機器を設置してありますので、是非ご利用ください。操作方法がわからない場合は、職員にお声がけください。

i 「いつでも笑顔で」 CS室 竹内 由美子

当院では、職員全員に接客教育を行っています。その中で、常に目標としているのは「いつでも笑顔で患者さんに接すること」です。昨年は院内の「接客コンテスト」で優しい笑顔の職員が10名表彰され、当院ホームページのバナー画像に笑顔の出演をしています。現在はマスクの着用で表情が見えにくいですが、笑顔をお届けできるよう心がけています。

笑顔は実は人に好印象を与えるだけのものではなく、自分自身の心が和み前向きになる効果があります。私たちは患者さんが不安な時や辛い時に、そっと傍で寄り添える「心からの笑顔」で常に対応したいと努めています。



地域健康講座 新型コロナウイルス感染防止のため、地域健康講座の開催はありません。
現在、WEB版 みんなの健康講座の準備を進めております。

当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/> QRコード →

